

各教科の結果概要

1 各教科の平均通過率（県全体）

ここでは、各教科ごとに調査実施学年の平均通過率を示しており、本県の「基礎・基本」の定着状況の概要を、教科・学年ごとに見ることができる。

小学校と中学校の平均通過率を比較すると、どの教科も総じて小学校が高く、中学校が低い傾向にある。小学校は、特に国語と算数については、80%を超えており、社会、理科も75%を超えている。

これに対して中学校では、第2学年の国語が80%を超えているのに比べ、3教科で60%に満たない学年がある。今回の調査が、「基礎・基本」の定着状況を調査することを目的として出題されていることを考えると、「基礎・基本」の定着に対する一層の取組が必要な教科・学年が見られることがわかる。

また、各教科とも中学校の第1学年と第2学年の差よりも、小学校との差の方が大きいことから、「基礎・基本」の確実な定着を図るためには、小学校と中学校における学習指導の在り方等を含めて、小・中学校間の連携を一層進めることが必要である。

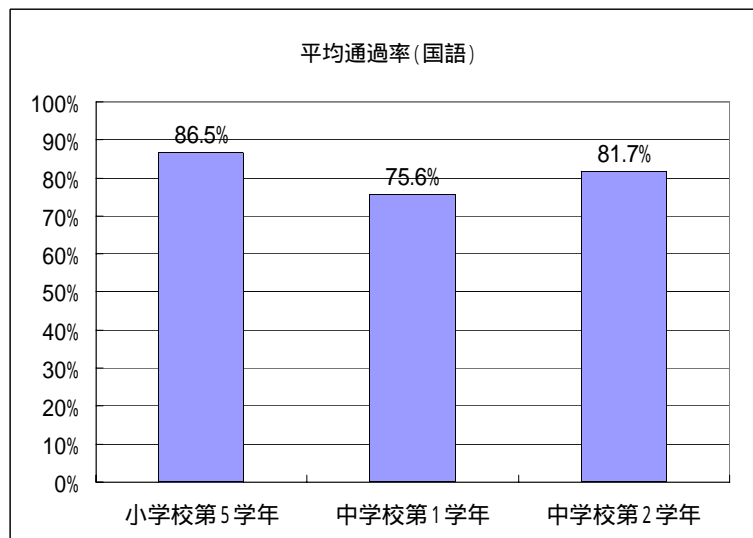
以下は、各教科における結果の概要である。

(1) 国語

| | 平均通過率 |
|---------|-------|
| 小学校第5学年 | 86.5% |
| 中学校第1学年 | 75.6% |
| 中学校第2学年 | 81.7% |

小学校は約87%の平均通過率であるが、中学校は第1学年が約76%、第2学年は約82%の平均通過率で、小学校と比較すると中学校の平均通過率の方が低い傾向にある。

国語科の指導内容は、系統的・段階的に上の学年につながっていることから、そのことを踏まえ、児童生徒の実態に応じて重点的に指導内容を取り上げる等の指導の工夫が大切である。

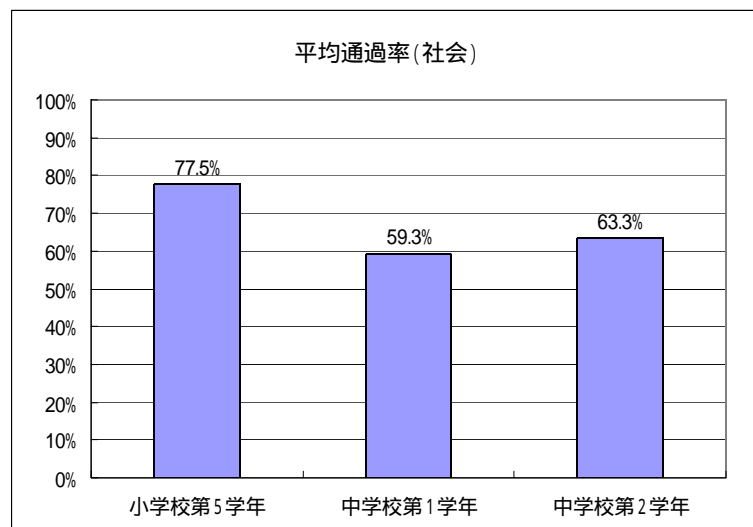


(2) 社会

| | 平均通過率 |
|---------|-------|
| 小学校第5学年 | 77.5% |
| 中学校第1学年 | 59.3% |
| 中学校第2学年 | 63.3% |

小学校は77%を超える平均通過率であり、中学校は第1学年が約59%、第2学年が約63%の平均通過率であった。

小学校及び中学校の平均通過率の傾向から、小・中の学校間及び、中学校の歴史的分野や地理的分野において内容の系統性等を踏まえた指導の工夫が求められる。

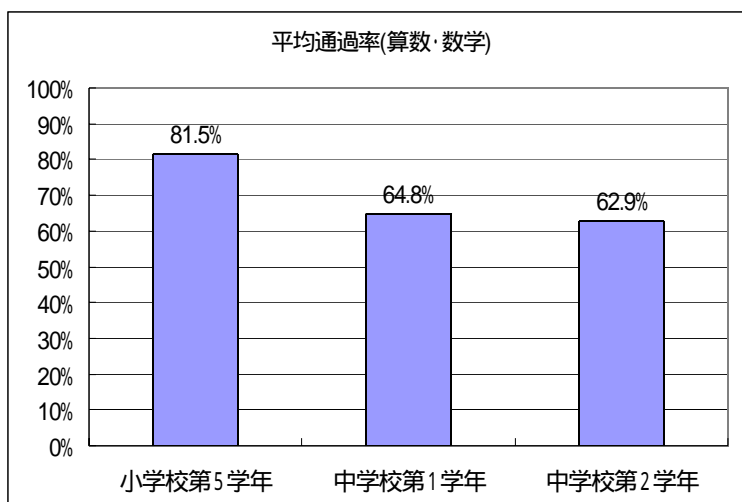


(3) 算数・数学

| | 平均通過率 |
|---------|-------|
| 小学校第5学年 | 81.5% |
| 中学校第1学年 | 64.8% |
| 中学校第2学年 | 62.9% |

小学校は81%を超える平均通過率であるが、中学校は第1学年が約65%、第2学年が約63%の平均通過率であった。

中学校の2学年間の平均通過率にはそれほど差がないが、小学校と中学校との平均通過率には大きな差が見られることから、小・中間の内容・領域の系統性を踏まえた指導の工夫が求められる。

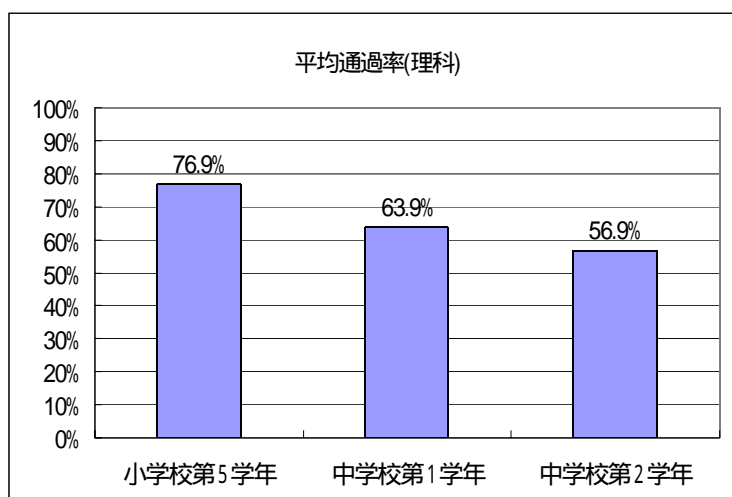


(4) 理科

| | 平均通過率 |
|---------|-------|
| 小学校第5学年 | 76.9% |
| 中学校第1学年 | 63.9% |
| 中学校第2学年 | 56.9% |

小学校は約77%の平均通過率であるが、中学校は、第2学年が約57%の平均通過率であり、大きな差が見られる。

学年が進むにつれて平均通過率が下がる傾向が見られることから、指導に当たっては、各内容・領域の系統性を踏まえるとともに、前学年までの児童生徒の定着度を十分把握した上での工夫が求められる。



(5) 英語

| | 平均通過率 |
|---------|-------|
| 中学校第1学年 | 58.8% |
| 中学校第2学年 | 59.5% |

第1学年と第2学年の平均通過率はほぼ同じであるが、第1学年の学習内容が第2学年のそれと比べて易しいことを考えると、第1学年はより高い平均通過率になるよう指導の充実が求められる。

英語は系統性の強い教科であることから、第1学年のときから、継続的に反復練習を行い、実際に使う機会を増やすなどの工夫を行いながら、学習内容の定着を図る必要がある。

